

ぶんしゅう よ 文集を読むみなさんへ

じんけんきょういくか
人権教育課

一 この文集には、次のようなことが書かれた作文をのせています。

○ 「自分も、ほかの一人一人も、みんな大切ないのちをもった人間なのだ。」と考えている。

人間なのだ。」と考えている。

○ 人間が人間を苦しめている「まちがい」に気づき、ゆるしてはならないと考えている。

○ まちがいを直すために、自分はどうしたらよいのか、どんな学級や社会にしていいたらよいのかを考え、行動しようとしている。

掲載作品の中には、一般的には当事者を蔑視したり差別したりするような言葉が使われているものがありますが、作者の意図を尊重し、一部原文のまま掲載しています。

二 作文を読んで次のことを学びとり、自分の問題として考え

友達と話し合ってみましょう。

○ 作者が、自分となかまとの生活についてありのままくわしく見つけていること。

○ 「へんだな。」「これでいいのだろうか。」と思った点について、

いろいろな立場からよく考え、自分の意見を述べていること。

○ 作者や文中に出てくる人の、どんなところがすばらしいのか。また、どんなところが不十分なままになっているのか。

三 この文集から学んだことをもとにして身のまわりのことがらを見つめ、作文を書いてみましょう。

○ 書くことを通して、ふだん疑問に思っていたことをはっきりさせ、それについての自分の考えを確かめる。

○ 自分のまわりの人の考え方、生活の仕方について気付いたことを、できるだけくわしく書く。

○ 書いたことをもとに、「人間を大切にし、ともに生きていく力」をもてるように努力する。